

インドネシア

アンペラ橋改修事業



改修されたアンペラ橋

[借款概要]

承諾額/実行額	1,804百万円 / 1,695百万円
借款契約調印	1988年7月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1993年9月

[事業概要]

南スマトラ州の中心都市パレンバン市を流れるムシ川に架かるアンペラ橋を改修することにより、橋梁の老朽化に対処し、同市周辺の円滑な交通網を確保するもの。

[評価結果]

パレンバン市はムシ川により南北に分かれるが、北部を行政・商業の中心として再開発し、南部を新たな住宅・商業地域として発展させることが同市の都市開発の目標とされて来た。

このような南北をつなぐ交通路として、アンペラ橋は唯一の架橋であったが、本事業による改修工事が1993年に完了したのに続き、94年には市街地のバイパスのための新橋（第2ムシ川橋）が本橋の上流5kmの地点に新設された。これら二橋梁の相乗効果によって同市の交通が円滑化されることが期待されており、事業計画時（1986年）にはアンペラ橋において約44千台／日であった交通量が、2000年には約78千台／日（約1.8倍）と大幅に増加し、第2橋ムシ橋では約7千台／日となっている。同市の住民にとって、アンペラ橋は、利便性等の面から引き続き最も重要な存在となっている。

なお、橋梁の維持管理に関し、本事業完成後にムシ川を航行する船舶が橋脚に接触する事故が生じているので、関係省方とも連携して船舶の安全航行を図ることが必要である。